

# 令和 4年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00445 )

事務事業名称	一般廃棄物処理管理事務				款 06 項 01 目 03 事業 001	整理番号	438	
現担当課名	ごみ減量対策課		係名	管理係	連絡先電話番号	3723	昨年度整理番号	454
上位施策No・施策名	10 ごみの減量と資源化の推進				予算事業区分	既定事業		
事業開始	平成12年度	実行計画事業	目標 03	施策 10	計画事業 02	主要事業 ( 区政経営報告書掲載事業 )		
令和 3年度担当課名	ごみ減量対策課				事業評価区分	一般		

## 令和 3年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	家庭廃棄物及び事業系一般廃棄物 一般廃棄物処理業者	根拠法令等 ( 1 ) ( 2 )	廃棄物の処理及び清掃に関する法律  杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例
事業の目的・目標 ( 対象をどのような状態にしたいのか )	廃棄物の分別状態を適正にし、より円滑な廃棄物処理を可能にしていく。 一般廃棄物処理基本計画に定めた目標値の達成を目指す。	活動指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 )	一般廃棄物処理業者許可 ( 新規・更新 ) 件数  収集車両台数 ( 両所の1日平均 )
活動内容 ( 事務事業の内容、やり方、手段 )	適正な排出処理に向けた基盤づくりを行う。 一般廃棄物処理業者への助言、指導を行う。 「杉並区一般廃棄物処理基本・実施計画」や「ごみ収集作業計画」を策定する。 清掃リサイクル事業の基礎データを収集する。	成果指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 ) 指標説明	事業系一般廃棄物搬入量 ( 持込ごみ量 ) 指定処理施設 ( 清掃工場等 ) への事業系一般廃棄物総搬入量 ( 速報値 ) 一般廃棄物搬入量 指定処理施設 ( 清掃工場等 ) への廃棄物総搬入量 ( 速報値 )

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度	
		実績	計画	実績	計画 ( 目標値 )	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 ( 1 )	1 件	144	116	107	147	144	113	98.0	89.6	
活動指標 ( 2 )	2 台	76	76	79	80	80	81	100.0		
成果指標 ( 1 )	3 t	26,296	25,465	22,684	25,119	23,783	25,815	94.7		
成果指標 ( 2 )	4 t	124,045	121,372	123,347	119,723	121,540	123,045	101.5		
事業費	5 千円	9,297	3,883	3,583	4,854	4,351	2,353	特記事項		
( 内 ) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	事業費が10%以上増加した理由は、単年度経費を執行したためです。( 家庭ごみ排出状況調査委託 )		
( 内 ) 委託費	7 千円	7,962	1,867	1,846	3,216	2,786	196	予算執行率90%未満の理由は、「家庭ごみ排出状況調査委託」落差金によるものです。		
職員数	8 人	2.85	2.15	2.57	2.15	2.31	2.85			
	9 人	0.10	0.10	0.25	0.10	0.15	0.10			
人件費	10 千円	24,846	18,744	21,853	17,563	18,934	20,734			
	11 千円	308	308	907	363	551	368			
総事業費 ( 5+10+11 )	12 千円	34,451	22,935	26,343	22,780	23,836	23,455			
単位当たりコスト ( ( 12-6 ) ÷ 1 )	13 円	239,243	197,716	246,196	154,966	165,528	207,566			
財源	受益者負担分	14 千円	1,450	1,176	1,085	1,486	1,450	1,146		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	2,404	242	181	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 ( 14+15+16+17 )	18 千円	3,854	1,418	1,266	1,486	1,450	1,146		
差引：一般財源 ( 12-18 )	19 千円	30,597	21,517	25,077	21,294	22,386	22,309			
受益者負担比率 ( 14 ÷ 12 )	20 %	4.2	5.1	4.1	6.5	6.1	4.9			

# 令和 4年度杉並区事務事業評価表 ( 2 )

## 令和 3年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 438

	内 容	規模	単位	事業費 ( 千円 )
主な取組	廃棄物情報管理システム維持管理			848
	家庭ごみ排出状況調査委託			2,585
	全国都市清掃会議負担金等の支出			388
	その他 ( 需用費等 )			530
事業実績	<p>今後のごみ量予測と新型コロナウイルス感染症の影響を把握するため、家庭ごみ排出状況調査を実施し、基礎資料とするとともに、環境清掃審議会への諮問・答申等を踏まえ杉並区一般廃棄物処理基本計画 ( 令和4～12年度 ) 案を策定しました。</p> <p>一般廃棄物処理業者の事務所や事業現場への立入検査については、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できませんでしたが、一般廃棄物処理業の許可事務に関しては行政指導を適切に実施しました。</p>			

## 令和 3年度 評価と課題 ( C h e c k )

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 ( 期待・要望・苦情など )	<p>平成12年度から清掃事業が都から区へ移管されました。一般廃棄物処理業及び浄化槽清掃業の許可事務は、平成17年度までは区への円滑移行を図るため、経過的に東京二十三区清掃協議会で事務を行い、平成18年度から平成24年度まで区が行いました。平成25年度からは東京二十三区清掃協議会による共同処理となりました。</p> <p>大規模地震等、区内で発生した災害廃棄物を迅速・適正に処理することにより、早期の復旧・復興を実現するために「杉並区災害廃棄物処理計画」を令和2年12月に策定しました。</p>
事業の今後 ( 3～5年 ) の予測と方向性	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、リモート勤務や自宅で過ごす時間が増加して区民の生活スタイルは大きく変容し、家庭ごみでは、生ごみ・プラスチック製容器包装が増加し、事業系ごみもコロナ禍で減少しており、以前の水準には達していない状況です。また、令和4年4月にプラスチック資源循環促進法が施行され、区においても、プラスチックの排出抑制や再資源化の取組を推進していくことが求められており、今後は、製品プラスチックの分別回収も見据え、定期的に家庭ごみの排出状況調査を実施・検証し様々な検討に活かしていきます。</p> <p>また、令和2年度に「杉並区災害廃棄物処理計画」と併せて策定した災害時行動マニュアルを清掃事務所や関係機関と連携しながら、より実効性があるものとして精度を高めていきます。</p>
計画 ( 目標値 ) に対する実績 ( 指標の分析等 )	<p>家庭ごみは前年度比で3%減少し、事業系一般廃棄物搬入量 ( 持込ごみ量 ) は前年度に比べて増加傾向に転じましたが、コロナ禍の前の水準には戻りきっていない状況です。</p> <p>そのため、業者への許可件数は微減となる一方、区の車両台数は微増となりました。</p> <p>適正な排出処理を行っていくために、今後も一般廃棄物処理業者への助言・指導を適切に行うとともに、更なるごみの減量に向けて、ごみ・資源の排出抑制の必要性を区民及び事業者広く周知し、行動変容につなげていく必要があります。</p>
評価と課題	<p>令和3年度に実施した家庭ごみ排出状況調査では、可燃ごみ中に約2割の資源化可能なものが含まれている結果となりました。プラスチック資源循環促進法が施行され、今後の製品プラスチックを含めた分別回収を見据える中で、当該結果を踏まえ、資源化可能な品目について分別の徹底を周知していくことが重要です。そのため、コロナ禍における生活様式の変化等により増加したワンウェイプラスチックや食品ロスの削減を重点に、リデュースやリユースの取組も引き続き強化していきます。</p> <p>事業系ごみについては、排出者責任に基づき、減量とともに資源化に向けた勧奨も行っていく必要があります。</p>

## 令和 5年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 ( 見直しの視点 )	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し ( 改善 )
予算の方向性の理由・内容	<p>今後は、新たに策定する一般廃棄物処理基本計画に基づき、循環型社会の実現に向けて、地球温暖化対策にも資するごみの減量と資源化を推進するため、特にワンウェイプラスチックや食品ロスの削減に引き続き重点的に取り組んでいきます。</p> <p>また、プラスチック資源循環促進法が施行したことにより、定期的に家庭ごみ排出状況調査を実施・検証のうえ、今後の製品プラスチックを含めたプラスチックの資源回収の実施に向けて、検討を進めていきます。</p> <p>一般廃棄物処理業等許可事務は東京二十三区清掃協議会による23区共同処理となっていますが、区としては、これまで同様に一般廃棄物処理業者への立入検査や行政指導等を徹底することにより、事業系廃棄物処理の適正分別・排出を推進していきます。</p>	

# 令和 4年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00446 )

事務事業名称	ごみの減量と資源化の推進					款 06 項 01 目 03 事業 002	整理番号	439	
現担当課名	ごみ減量対策課		係名	事業計画係		連絡先電話番号	3725	昨年度整理番号	455
上位施策No・施策名	10 ごみの減量と資源化の推進					予算事業区分	既定事業		
事業開始	平成13年度	実行計画事業	目標 03	施策 10	計画事業 01	02	主要事業 ( 区政経営報告書掲載事業 )		
令和 3年度担当課名	ごみ減量対策課					事業評価区分	一般		

## 令和 3年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	区民・事業者・産業団体等	根拠法令等 ( 1 ) ( 2 )	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 循環型社会形成推進基本法
事業の目的・目標 ( 対象をどのような状態にしたいのか )	啓発活動を通して、区民のごみ減量への意識を高めつつ、ごみの発生抑制や再利用、再生利用の手法により、ごみ減量を実現する。 区民、事業者等との協働により普及啓発、生活雑貨などのリユースや集団回収への取組を進め、ごみの発生抑制とリサイクルの意識を高める。	活動指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 )	啓発物 ( パンフレット、冊子 ) 延べ配布部数 平成28年度実績分より、チラシ枚数は除外した 集団回収実施団体数
活動内容 ( 事務事業の内容、やり方、手段 )	ごみの減量を推進するため、「ごみ・資源の収集カレンダー」をはじめとする各種啓発物の発行や小学校等への環境学習により、啓発活動を行う。 資源の集団回収団体に対し報奨金・支援物品を支給する。 資源化を推進するため、廃食用油、小型家電15品目等を拠点回収し、希少金属等を再資源化業者に引き渡す。 ○生ごみの減量のため、家庭用生ごみ処理機購入費の助成をする。	指標説明 成果指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 ) 指標説明	区収集ごみ量 ( 対令和 2 年度比 ) 令和3年度区収集ごみ量 ÷ 令和2年度区収集ごみ量 資源回収率 資源回収量 ÷ ( 区収集ごみ量 + 資源回収量 )

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	令和元年度	令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度	令和 3 年度	令和 3 年度	
		実績	計画	実績	計画 ( 目標値 )	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 ( 1 )	1 枚	516,700	513,700	512,950	509,500	509,000	494,500	99.9	89.6	
活動指標 ( 2 )	2 団体	494	541	468	559	432	432	77.3		
成果指標 ( 1 )	3 %	101.1	98	103.0	98	97.0	98	99.0		
成果指標 ( 2 )	4 %	27.1	32.0	27.7	33.0	27.6	33.0	83.6		
事業費	5 千円	79,563	110,635	100,038	109,618	98,230	87,824	特記事項		
( 内 ) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0			
( 内 ) 委託費	7 千円	22,583	51,557	46,234	54,150	46,734	30,293			
職員数	常勤職員数 ( 再任用含 )	8 人	4.49	4.70	5.14	6.10	6.88	5.45		
	上記以外の職員	9 人	1.30	1.30	1.65	1.55	1.60	2.15		
人件費	常勤職員分 ( 再任用含 )	10 千円	39,144	40,975	43,705	49,352	54,728	44,454		
	上記以外の職員	11 千円	4,004	4,004	5,986	5,623	5,880	7,901		
総事業費 ( 5+10+11 )	12 千円	122,711	155,614	149,729	164,593	158,838	140,179			
単位当たりコスト ( ( 12-6 ) ÷ 1 )	13 円	237	303	292	323	312	283			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	2,063	2,471	2,346	1,320	660	789		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 ( 14+15+16+17 )	18 千円	2,063	2,471	2,346	1,320	660	789		
差引：一般財源 ( 12-18 )	19 千円	120,648	153,143	147,383	163,273	158,178	139,390			
受益者負担比率 ( 14 ÷ 12 )	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

# 令和 4年度杉並区事務事業評価表 ( 2 )

## 令和 3年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 439

	内 容	規模	単位	事業費 ( 千円 )
主な取組	「ごみ・資源の収集カレンダー」の発行	420,000	部	12,378
	集団回収団体報奨金の支払	432	団体	29,069
	金属分を含む不燃ごみ・粗大ごみの資源化委託			20,392
	その他 ( 集団回収支援消耗品の購入、食品ロス削減委託料ほか )			36,391
事業実績	<p>「ごみ・資源の収集カレンダー」は、排出抑制・適正分別に焦点を当て、構成と見出しの工夫を行い、ごみ減量及び資源化に対する一層の周知と意識向上を図りました。また、集団回収団体の活動を支援することで協働による資源化の推進を図りました。食品ロス削減の取組では、フードドライブに提供された食品は令和2年度比約2.2倍の14,343個となり、事業者と連携した取組により食べのこし0 ( ゼロ ) 応援店は233店舗増の625店舗となりました。さらに、フードシェアリングを利用したレスキュー数は5,068食となり、約2.5トンの食品ロス削減につながりました。</p>			

## 令和 3年度 評価と課題 ( C h e c k )

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 ( 期待・要望・苦情など )	<p>清掃情報紙「ごみバックン」や全戸配布している「ごみ・資源の収集カレンダー」等を活用し、ごみの減量や資源化の推進を周知、啓発しています。フードドライブに対する認知度も高まり、回収個数も増加しています。また、事業系食品ロスの削減に取り組む飲食店等を登録する「食べのこし0 ( ゼロ ) 応援店」は登録店舗が625店舗、その内フードシェアリング登録店舗は58店舗になりました。全戸配布している「ごみ・資源の収集カレンダー」、区内小学4年生に配布している「できることからはじめよう」や、廃食用油・小型充電式 ( 二次 ) 電池などの回収拠点拡充の案内、家庭ごみ排出状況調査の結果に関する特集などを掲載した「ごみバックン」等の啓発物は、区民から好評を得ています。</p>
事業の今後 ( 3~5年 ) の予測と方向性	<p>「ごみ・資源の収集カレンダー」は、ごみ・資源の発生抑制及び、製品プラを含めたプラ回収の実施に向けた分別の重要性を周知するため、カレンダー部分の分離・スリム化、分別など周知部分の充実を図るなど、掲載内容の改善を検討します。</p> <p>食品ロス削減は、誰もが取り組める「食べきりレシピ」を作成し、料理教室 ( 講座 ) などの実践的な活動や、フードシェアリングサービスを併せて行う「食べのこし0 ( ゼロ ) 応援店」の拡充等、各種団体と連携・協働して取り組んでいきます。</p> <p>世界的に問題となっているプラスチックの削減は、特にワンウェイプラスチックの発生抑制に向けて、清掃情報紙等で周知・啓発するとともに、区全体で取り組んでいく必要があります。</p>
計画 ( 目標値 ) に対する実績 ( 指標の分析等 )	<p>令和2年度はコロナ禍の影響により、区収集ごみ量、資源回収量ともに一時的に増加となりましたが、令和3年度は、影響が緩和され微減となりました。また、デジタル化による新聞・雑誌の減少、ペットボトル流通によるびん・かんの減少等、資源そのものが減少傾向にあることから、資源回収率は目標値に達しませんでした。</p> <p>集団回収実施団体は、資源の減少傾向のほか、古紙価格の下落に伴う回収業者の事業規模縮小、集団回収団体構成員の高齢化等による担い手不足などにより減少しています。</p>
評価と課題	<p>区民・事業者・区がそれぞれの役割と責務のもと、ワンウェイプラスチックや食品ロスの削減、分別を徹底するなど、ごみの減量・資源化の推進に向けて連携して取り組んでいく必要があります。そのため、廃食用油や小型充電式電池等の拠点回収の拡充等、区全体で更なる資源化に重点的に取り組むとともに、モノを長く使う生活習慣を醸成することによって、ごみと資源そのものの発生を抑制し減量につなげていきます。集団回収については、今後も回収業者や杉並リサイクル事業協同組合との連携や、団体に対する支援物品の充実など、区民が参加しやすい仕組みづくりを一層進めていきます。</p>

## 令和 5年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 ( 見直しの視点 )	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し ( 改善 )
予算の方向性の理由・内容	<p>食品ロスやワンウェイプラスチック削減を中心とした取組を強化します。食品ロス削減は、教室や講座の開催など実践的な手法を取り入れ、他機関と連携し、区民に対して行動変容を促す内容にしています。ワンウェイプラスチック削減も環境課と連携し、発生抑制を中心とした取組をとおり、区民の2Rへの意識向上へつなげていきます。</p> <p>令和2年度の金属分を含む不燃ごみ、粗大ごみは、市況の変化により有償による再資源化となりましたが、3年度は市況の好転や再資源化事業者の開拓等により売却収入を得ることができました。今後も市況の変化を注視し、限りある資源の有効活用の観点から、再資源化に取り組めます。</p> <p>集団回収事業は、資源そのものの減少傾向に加え、回収事業者、実施団体ともに後継者・人員不足等により、継続が困難な状況となっています。リサイクル意識を高め、良質な資源の回収ができる取組のため、現在活動している団体が継続できるよう支援を工夫します。</p>	

# 令和 4年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00447 )

事務事業名称	ごみ・し尿の収集・運搬				款 06 項 01 目 03 事業 003	整理番号	440		
現担当課名	ごみ減量対策課		係名	事業計画係		連絡先電話番号	3725	昨年度整理番号	456
上位施策No・施策名	10 ごみの減量と資源化の推進					予算事業区分	既定事業		
事業開始	平成12年度	実行計画事業	目標 03	施策 10	計画事業 02				
令和 3年度担当課名	ごみ減量対策課					事業評価区分	一般		

## 令和 3年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	区内一般家庭事業者 ( 排出日量50kg未満 )	根拠法令等 ( 1 ) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 ( 2 ) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例
事業の目的・目標 ( 対象をどのような状態にしたいのか )	集積所等に分別・排出されたごみを、適正かつ効率的に収集・運搬する。 区民が利用しやすいよう、収集サービスの向上を図る。 。収集した粗大ごみ・不燃ごみを中継車に積み替えて運搬車両台数を減らし、運搬コストを削減する。	活動指標 指標名 ( 1 ) ごみ ( 可燃、不燃、粗大 ) 収集量 指標説明 指標名 ( 2 ) 粗大ごみの収集点数
活動内容 ( 事務事業の内容、やり方、手段 )	区民等が分別し排出した可燃ごみは杉並清掃工場等へ、不燃ごみは中継所に搬入する。 粗大ごみは、受付、収集・運搬を委託により実施する。 中継所に搬入された不燃ごみ・粗大ごみは、金属やその他ごみ等に選別した後に中継車に積み替え、適正処理施設へ搬出する。	指標説明 成果指標 指標名 ( 1 ) 1t 当たりのごみ・し尿収集運搬コスト 指標説明 指標名 ( 2 ) ごみ・し尿収集運搬コスト ( 事業費 ) ÷ 区収集ごみ量 指標説明

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度	
		実績	計画	実績	計画 ( 目標値 )	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 ( 1 )	1 t	97,749	95,696	100,663	99,209	97,675	97,230	98.5	96.8	
活動指標 ( 2 )	2 点	498,333	500,000	520,983	500,000	517,914	500,000	103.6		
成果指標 ( 1 )	3 円	15,808	17,924	16,247	17,780	17,489	19,697	98.4		
成果指標 ( 2 )	4									
事業費	5 千円	1,545,181	1,715,257	1,635,431	1,763,917	1,708,225	1,915,172	特記事項		
( 内 ) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0			
( 内 ) 委託費	7 千円	1,501,326	1,676,972	1,597,302	1,725,842	1,670,343	1,877,310			
職員数	常勤職員数 ( 再任用含 )	8 人	158.27	133.46	141.87	125.46	120.08	114.79		
	上記以外の職員	9 人	0.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50		
人件費	常勤職員分 ( 再任用含 )	10 千円	1,325,528	1,114,974	1,162,569	1,021,849	957,794	913,389		
	上記以外の職員	11 千円	924	0	0	0	0	1,838		
総事業費 ( 5+10+11 )	12 千円	2,871,633	2,830,231	2,798,000	2,785,766	2,666,019	2,830,399			
単位当たりコスト ( ( 12-6 ) ÷ 1 )	13 円	29,378	29,575	27,796	28,080	27,295	29,110			
財源	受益者負担分	14 千円	403,656	428,185	398,459	448,795	419,921	439,848		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 ( 14+15+16+17 )	18 千円	403,656	428,185	398,459	448,795	419,921	439,848		
差引：一般財源 ( 12-18 )	19 千円	2,467,977	2,402,046	2,399,541	2,336,971	2,246,098	2,390,551			
受益者負担比率 ( 14 ÷ 12 )	20 %	14.1	15.1	14.2	16.1	15.8	15.5			

# 令和 4年度杉並区事務事業評価表 ( 2 )

## 令和 3年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 440

	内 容	規模	単位	事業費 ( 千円 )
主な取組	収集・運搬車両借上 ( 可燃・不燃 )			912,308
	粗大ごみの収集・運搬委託			337,058
	粗大ごみの中継車両借上	2,423	台	105,754
	粗大ごみ・不燃ごみ中継業務委託			143,494
	その他 ( 賃借料・委託料・消耗品購入ほか )			209,611
事業実績	<p>杉並清掃工場の機械メンテナンスのため同工場内にある2つの焼却炉が同時に停止する期間がありました。これに伴い、令和4年2月上旬から下旬にかけて一部搬入先の変更をしましたが、大きなトラブルもなく年間をとおして安定した収集作業を行うことができました。</p> <p>小型ダンプ車で収集している粗大ごみを、中継所において中型プレス車に積み替えて運搬することにより、搬送効率を上げ環境への負荷を軽減することができました。</p>			

## 令和 3年度 評価と課題 ( C h e c k )

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 ( 期待・要望・苦情など )	<p>可燃ごみ量 平成12年度 108,401 t 令和3年度 91,103 t 対平成12年度比 約16%減</p> <p>不燃ごみ量 平成12年度 25,288 t 令和3年度 2,759 t 対平成12年度比 約89%減</p> <p>粗大ごみ量 平成12年度 4,919 t 令和3年度 3,813 t 対平成12年度比 約24%減</p> <p>総 計 平成12年度 138,608 t 令和3年度 97,675 t 対平成12年度比 約30%減</p> <p>ごみの収集漏れ等の問い合わせはありますが、令和3年度は長引くコロナ禍の影響もあり、区民からは感謝や励ましの声が続く寄せられています。粗大ごみは、申請件数が更に増加し、収集・運搬業務が追い付かず、予約収集日までの待機日数が長期化しています。</p>
事業の今後 ( 3~5年 ) の予測と方向性	<p>可燃ごみ量は、コロナ禍の影響により一時急増した令和2年度に比べ微減したものの、可燃・不燃・粗大ごみの総量は人口増加等を要因に令和元年度に比べ増加しています。今後は、元年度と3年度に実施した家庭ごみの組成調査の結果を比較・考慮し、ごみの発生抑制 ( リデュース ) に重点を置いたごみの減量や適正排出に向けた啓発等、社会情勢に沿った的確な取組を推進します。</p> <p>また、集積所について、近隣関係を起因とした分散回収の要望や、狭小路地区へのきめ細かなサービスに対応するため分散化が進み、年々、集積所数が増加しています。集積所の増加によって、収集業務に支障が生じることがないように、より効率的な収集・運搬体制を構築する必要があります。</p>
計画 ( 目標値 ) に対する実績 ( 指標の分析等 )	<p>令和3年度のごみ ( 可燃・不燃・粗大 ) の収集量は、コロナ禍の影響が緩和されたことにより、例年からの微増にとどまりました。今後も社会状況の変化に影響を受けることが考えられるため、これからの事業展開においては、収集・運搬業務の更なる効率化と着実な実施を図るとともに、ごみ・資源全体量の減少に向けた取組が必要です。粗大ごみは、2年度から収集点数が増加となっており、更なる減量に向けた取組が重要です。</p> <p>環境学習や出前講座などを通じた分別意識の向上やごみ・資源の排出抑制に向け、ものを長く大切に使う生活習慣の醸成を促すなど、区民一人ひとりの意識改革に向けた取組が必要です。</p>
評価と課題	<p>令和3年度の可燃ごみ量は、令和2年度と比較して約2,733 t 減少しました。新型コロナウイルス感染症の影響が緩和されつつある中で、区民の生活衛生環境を維持するためにも、感染症対策に留意しながら、収集・運搬ルートの見直しや相互応援を実施するなど効率的な作業に努めました。</p> <p>粗大ごみ受付業務委託は、現在の事業者が撤退することから、より円滑な受付業務を推進するため、適切な事業者への委託を進めていきます。</p> <p>感染症を予防しながら、日常生活を送る「withコロナ」とごみ排出状況の変化が今後も予想されます。区民・事業者が当事者意識を持ち、ごみ・資源の発生抑制や適正分別に取り組み、ものを長く使う生活習慣を醸成できるよう周知・啓発方法を工夫し、ごみ減量に向けた取組を強化します。</p>

## 令和 5年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 ( 見直しの視点 )	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し ( 改善 )
予算の方向性の理由・内容	<p>今後、新型コロナウイルス感染症が終息に向かいつつありますが、テレワークの定着等ライフスタイルの変容による一定量のごみ増加が見込まれます。加えて、近年分散化等によって増加し続ける集積所数に対応するために、多方面から検証を行い、効率的な収集体制を確立していきます。そのため、過去の実績や社会情勢等の様々な観点から適正なごみ量の推計を行い、組織体制や車両の運用等を見直し収集コストを抑制していきます。</p> <p>また、粗大ごみの待機日数の短縮に向けて、受付、収集体制の改善に取り組んでいきます。</p>	

# 令和 4年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00449 )

事務事業名称	資源の回収	款	06	項	01	目	03	事業	004	整理番号	441
現担当課名	ごみ減量対策課	係名	事業計画係				連絡先電話番号	3725	昨年度整理番号	457	
上位施策No・施策名	10 ごみの減量と資源化の推進						予算事業区分	既定事業			
事業開始	平成11年度										
令和 3年度担当課名	ごみ減量対策課						事業評価区分	一般			

## 令和 3年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	資源の排出者	根拠法令等	( 1 ) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 ( 2 ) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	再商品化が可能な古紙、びん、かん、ペットボトル、プラスチック製容器包装を分別収集することにより、ごみの減量と貴重な資源の回収を推進する。	活動指標	資源回収量 (行政回収分)
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	ごみ・資源の集積所に排出された資源 (古紙・びん・かん・ペットボトル・プラスチック製容器包装) を回収し、資源化中間処理施設に搬入する。資源化中間処理施設で選別・圧縮・梱包等した後、再商品化工場に引き渡し、再商品化する。資源の持ち去り対策として、早朝回収やパトロールを実施する。	指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 ) 指標説明	
		成果指標	資源回収率 (本事務事業では資源回収量に小型家電・金属の回収量は含みません。)
		指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 ) 指標説明	資源回収量 (行政回収分) ÷ 【区収集ごみ量 + 資源回収量 (行政回収分)】 区民一人1日当たりのごみ排出量 (区が収集している年間の可燃ごみ量 + 不燃ごみ量 + 粗大ごみ量) ÷ 人口 ÷ 365日

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 ( 1 )	1 t	29,350	37,585	32,401	40,522	31,438	39,714	77.6	98.5	
活動指標 ( 2 )	2									
成果指標 ( 1 )	3 %	23.1	28.2	24.3	29.0	24.3	29.0	83.8		
成果指標 ( 2 )	4 g	466	454	479	450	468	465	104.0		
事業費	5 千円	2,379,694	2,510,502	2,468,533	2,495,114	2,457,304	2,513,861	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0			
(内) 委託費	7 千円	2,366,113	2,493,637	2,453,975	2,479,383	2,445,065	2,497,387			
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8 人	3.88	4.05	4.20	4.05	4.25	4.20		
	上記以外の職員	9 人	0.00	0.50	0.50	0.00	0.00	0.50		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10 千円	32,559	35,308	35,713	34,437	35,458	34,195		
	上記以外の職員	11 千円	0	1,540	1,814	0	0	1,838		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	2,412,253	2,547,350	2,506,060	2,529,551	2,492,762	2,549,894			
単位当たりコスト ((12-6) ÷ 1)	13 円	82,189	67,776	77,345	62,424	79,291	64,206			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	40,797	46,000	38,151	45,000	47,928	42,000		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	40,797	46,000	38,151	45,000	47,928	42,000		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	2,371,456	2,501,350	2,467,909	2,484,551	2,444,834	2,507,894			
受益者負担比率 (14 ÷ 12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

# 令和 4年度杉並区事務事業評価表 ( 2 )

## 令和 3年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 441

	内 容	規模	単位	事業費 ( 千円 )
主な取組	古紙・びん・缶の回収業務委託			837,364
	ペットボトルの回収業務委託			384,235
	プラスチック製容器包装回収業務委託			584,349
	資源化中間処理委託			639,110
	その他 ( 委託料・消耗品購入ほか )			12,246
事業実績	<p>古紙、びん、かん、ペットボトル、プラスチック製容器包装を回収し、委託事業者である資源化中間処理施設へ搬入しました。中間処理施設で選別、圧縮等を行った後、再商品化工場へ搬入して資源化を図っています。また、資源の持ち去り対策として、古紙、びん、かんの早朝回収とパトロールを実施して持ち去り防止に努めています。</p> <p>なお、ペットボトルの資源循環向上のため、ケミカルリサイクルによりボトルtoボトルが可能な売却先を探索し、令和4年度から契約することとしました。</p>			

## 令和 3年度 評価と課題 ( C h e c k )

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 ( 期待・要望・苦情など )	<p>びん、かん、古紙、ペットボトル、プラスチック製容器包装は、開始時期は異なりますが、集積所回収を実施しています。また、資源の持ち去り対策として、古紙、びん、かんの早朝回収を実施しています。</p> <p>資源回収量は、社会情勢の変化等により資源毎に回収量に動きが出てきました。特に新聞と雑誌のデジタル化によって、ペーパーレスが進んでいる古紙は、回収量が大きく減少し、利便性があるペットボトルは年々増加しています。びん・かん・プラスチック製容器包装は、コロナ禍の影響は緩和されつつありますが、外出の自粛やテレワークの定着等により急増した2年度に比べ微減となりました。依然として、回収漏れ等の問い合わせが寄せられています。</p>
事業の今後 ( 3~5年 ) の予測と方向性	<p>近年、新聞、雑誌のデジタル化が進んでいることや、ペットボトルへの転換によってびん、かんの生産量が減少していることから、資源全体の回収量はコロナ禍の影響を受けた2年度を除き、減少傾向にあります。しかし、社会情勢の変化、テレワークの定着などライフスタイルの変容に伴い、利便性の高いペットボトルやプラスチック製容器包装は、これまでの予測よりも増加することが見込まれます。</p> <p>排出された資源は廃棄物であることから、引き続き発生抑制に向けた取組を実施するとともに、「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」の施行に伴う、製品プラスチックを含むプラスチック製品の分別回収実施に向け調査・検討を進めます。</p>
計画 ( 目標値 ) に対する実績 ( 指標の分析等 )	<p>令和3年度は、長引くコロナ禍の影響もあり各資源の回収量は例年よりは多い状況ですが、令和2年度から微減となりました。また、ごみ量全体が微減となったため、資源回収率は目標値に達しませんでした。</p> <p>近年の人口増加に加え、テレワークの定着などライフスタイルの変容により自宅で過ごす時間の増加等を要因として、区の収集ごみ量・資源回収量ともに大幅な減少とはなりませんでしたが、そのため、区民一人1日当たりのごみ排出量は、令和2年度より減少したものの、コロナ禍の影響もあり、目標達成には至りませんでした。今後の事業展開において、全ての年代における意識の向上と、ものを大切に長く使う生活習慣を醸成することによるごみ・資源の発生抑制に向けた取組が必要です。</p>
評価と課題	<p>資源回収量 ( 行政回収分 ) は、コロナ禍の影響による令和2年度の一時的な増加は緩和されましたが、例年より増加しています。社会情勢の変化、ライフスタイルの変容に伴い各資源毎の回収量に変化が生じていますが、収集・運搬の工夫により、収集遅延など区民生活に影響を与えることなく回収業務を実施しました。一方、集団回収は、資源 ( 古紙・びん・かん ) が減少傾向にあるほか、市況の悪化や高齢化等による後継者不足などにより減少しています。</p> <p>「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」の施行に伴い、製品プラスチックを含むプラスチックの分別回収が新たな課題となります。中間処理施設の受入れ体制や排出方法の変更など諸課題があるため、発生抑制を含めそれらの解決に向けた調査・検討を進めていく必要があります。</p>

## 令和 5年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 ( 見直しの視点 )	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し ( 改善 )
予算の方向性の理由・内容	<p>資源回収量は、社会情勢の変化、ライフスタイルの変容等の影響を受け、引き続き高止まりすることが見込まれ、回収量に応じて変動する中間処理に係る経費は、令和4年度と同じ水準になることが予想されます。また、集団回収については、市況の変化や高齢化による後継者不足の影響等により継続が困難になるなど、今後も停滞する可能性があります。その場合は、行政回収に切り替わるため、経費増加が見込まれます。</p> <p>また、「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」の施行に伴い、製品プラスチックを含むプラスチック回収・資源化が課題となります。製品プラスチックを含めた回収に向けた調査、検討、その後の回収事業や中間処理に係る経費の増加が予想されます。</p>	



# 令和 4年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00450 )

事務事業名称	ごみ・資源の排出の適正管理				款	06	項	01	目	03	事業	005	整理番号	442
現担当課名	杉並清掃事務所			係名	管理係			連絡先電話番号	3392-7281		昨年度整理番号	458		
上位施策No・施策名	10 ごみの減量と資源化の推進								予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成12年度	実行計画事業	目標	03	施策	10	計画事業	03	主要事業 ( 区政経営報告書掲載事業 )					
令和 3年度担当課名	杉並清掃事務所							事業評価区分	一般					

## 令和 3年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	区民及び区内事業者並びに区内建築物所有者及び管理者	根拠法令等 ( 1 ) ( 2 )	廃棄物の処理及び清掃に関する法律  杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例
事業の目的・目標 ( 対象をどのような状態にしたいのか )	ごみの分別の徹底を働きかけ、資源化を促進するとともにカラス等による集積所の被害を防止するために区民等が取り組みやすく、より低コストで効果的な方策で、集積所の衛生状態やまちの美観を保持する。 区の収集を利用する事業主に対し、適正なごみ処理券の貼付を働きかけることで、負担の公平性を確保する。	活動指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 )	直接又は文書による排出指導件数  折り畳み式防鳥ボックスの配布数
活動内容 ( 事務事業の内容、やり方、手段 )	事業活動に伴って出たごみ・資源を区の収集に出す事業者に対し、適正な事業系有料ごみ処理券を貼付するよう調査・指導する。 ごみ排出の適正化指導、環境学習の推進、集積所のカラス等による被害の防止対策、大規模建築物の所有者への排出指導などを行う。	指標説明 成果指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 ) 指標説明	有料事業系ごみ処理券収入済額

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度	
		実績	計画	実績	計画 ( 目標値 )	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 ( 1 )	1 件	1,116	1,300	412	1,200	524	1,200	43.7	91.3	
活動指標 ( 2 )	2 個	1,697	1,200	1,308	1,200	1,177	1,400	98.1		
成果指標 ( 1 )	3 千円	179,845	193,359	165,188	187,294	169,962	172,071	90.7		
成果指標 ( 2 )	4									
事業費	5 千円	70,347	78,793	73,907	72,073	65,830	74,426	特記事項		
( 内 ) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0			
( 内 ) 委託費	7 千円	26,518	30,220	27,846	27,277	23,718	26,921			
職員数	常勤職員数 ( 再任用含 )	8 人	43.60	50.70	53.96	48.60	50.61	47.27		
	上記以外の職員	9 人	1.10	0.60	0.52	1.35	1.25	0.75		
人件費	常勤職員分 ( 再任用含 )	10 千円	370,821	433,563	451,273	407,494	413,818	384,228		
	上記以外の職員	11 千円	3,388	1,848	1,887	4,898	4,594	2,756		
総事業費 ( 5+10+11 )	12 千円	444,556	514,204	527,067	484,465	484,242	461,410			
単位当たりコスト ( ( 12-6 ) ÷ 1 )	13 円	398,348	395,542	1,279,289	403,721	924,126	384,508			
財源	受益者負担分	14 千円	56,850	58,321	55,037	35,592	33,524	35,198		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	177	246	163	200	242	214		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 ( 14+15+16+17 )	18 千円	57,027	58,567	55,200	35,792	33,766	35,412		
差引：一般財源 ( 12-18 )	19 千円	387,529	455,637	471,867	448,673	450,476	425,998			
受益者負担比率 ( 14 ÷ 12 )	20 %	12.8	11.3	10.4	7.3	6.9	7.6			

# 令和 4年度杉並区事務事業評価表 ( 2 )

## 令和 3年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 442

	内 容	規模	単位	事業費 ( 千円 )
主な取組	有料ごみ処理券印刷実績	1,914,800	枚	10,507
	動物死体処理委託	521	頭	1,605
	折り畳み式防鳥用ボックス1,177基、カラスネット1,057枚の配布			26,579
	ごみ処理券徴収委託	311	店	17,925
	その他 ( 大規模建築物指導、ふれあい指導用消耗品ほか )			9,214
事業実績	<p>カラスネット・折り畳み式防鳥用ボックスを配布し、集積所のごみ散乱被害の防止やまちの美観保持に寄与しました。ごみの分別や資源化に関する環境学習は、例年、小学校等で30件程度実施していますが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、15件の実施に留まりました。また、7か国語対応のスマートフォン用アプリ「なみすけのごみ出し達人」や、多言語による排出指導ステッカーにより外国人も含めて排出方法の理解の促進を図りました。この他、有料ごみ処理券未貼付事業者への排出指導を随時実施し、ごみ・資源の適正な排出について区民等への啓発に努めました</p>			

## 令和 3年度 評価と課題 ( C h e c k )

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 ( 期待・要望・苦情など )	<p>近年は、生活形態の多様化や地域社会のコミュニケーションの希薄化から、集積所の分散化が進む傾向にあり、戸別収集への要望やルールを守らない人への指導を求める意見が依然として多く寄せられています。カラス対策は、事業開始当初は夜間収集による対策を実施しましたが、近年は排出マナーの向上、カラスネット・折り畳み式防鳥用ボックスの配布などの対策を推進したことにより被害は以前より減少しています。このほか、イラストを活用した集積所看板への交換、「なみすけのごみ出し達人 ( マスター ) 」アプリの7か国語対応など外国人にも分かりやすい啓発を実施しています。また、単身高齢者等を対象とした「ふれあい収集」は、安否確認など福祉的な側面から評価されています。</p>
事業の今後 ( 3~5年 ) の予測と方向性	<p>環境への関心の高まりや単身世帯・外国人住民の増加から、ごみ・資源の分け方・出し方や集積所の管理、カラス被害に対する相談が増えることが予想されます。また、高齢者世帯の増加から「ふれあい収集」へのニーズは高まると思われます。今後も生活形態の多様化によるごみ・資源集積所の分散化が進むことが予想されるため、収集作業の更なる効率化が求められます。</p>
計画 ( 目標値 ) に対する実績 ( 指標の分析等 )	<p>カラスネット・折り畳み式防鳥用ボックスを要望に応じて必要箇所 ( 1,057枚、1,177基 ) に配布してごみ散乱被害を防止したことで、カラス被害が減少しました。また、ごみ・資源の適正な分別の周知を徹底するため、有料シール未貼付事業者への排出指導を計画に基づいて実施し、ごみ処理券の貼付を働きかけることで負担の公平性を確保しました。ただし、令和3年度は新型コロナウイルス感染症予防のため、開袋調査や対面指導を制限したことから、例年に比べ指導件数は減少しました。</p>
評価と課題	<p>ごみ・資源の普及啓発事業を小学校等で実施し、ごみ減量・資源化への理解と協力を促しました。また、事業系ごみの有料ごみ処理券の未貼付への指導や不法投棄防止のための取組、未分別のごみの調査を実施するとともに、区民から希望のあった集積所へカラスネット・折り畳み式防鳥ボックスを配布することにより、集積所の衛生状態やまちの美観の保持に寄与しました。今後もまちの美観の保持に向けた取組の強化を図っていきます。なお、普及啓発、調査指導については、新型コロナウイルス感染症予防のため例年どおりには実施できませんでした。単身高齢者等を対象にした「ふれあい収集」については、ごみが出ていない場合の声かけによる安否確認が評価されており、今後も福祉部門と連携し引き続き実施していきます。</p>

## 令和 5年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 ( 見直しの視点 )	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し ( 改善 )
予算の方向性の理由・内容	<p>ごみの分別による減量化と資源化を周知徹底するため、未分別排出物が出されている集積所に対する調査を実施し、必要に応じて区民や事業者へのごみ・資源の排出指導を継続します。また、他区市町村からの転入者や外国人住民などへアプリやごみ・資源広報紙等を活用し、ごみの排出方法の周知を行います。事業系ごみの有料処理券の貼付率の向上を図るため、指導の強化を図っていきます。「ふれあい収集」時には、ごみが出ていない場合に声かけをするなどして、特に夏季の熱中症対策の一環として、安否確認の強化を行うなど福祉部門と連携した区民サービスの向上に努めていきます。</p>	

# 令和 4年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00453 )

事務事業名称	清掃車の運行及び維持管理			款	06	項	01	目	04	事業	001	整理番号	445
現担当課名	杉並清掃事務所		係名	管理係			連絡先電話番号	3392-7281		昨年度整理番号	461		
上位施策No・施策名	10 ごみの減量と資源化の推進							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成12年度												
令和 3年度担当課名	杉並清掃事務所							事業評価区分	施設維持管理				

## 令和 3年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	区保有清掃車両 (ごみ収集小型プレス車、軽ダンプ車、連絡車) 55台	根拠法令等 (1) (2)	杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例  道路運送車両法
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	加害事故「0」の実現 加害事故を根絶させる。 直営清掃車両の効率的な運行 作業計画数内の搬入を目標に、より効率的な運行を目指す。	活動指標 指標名 (1)  指標説明  指標名 (2)	交通安全講習会等の開催回数   年間延べ走行距離数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	車両を安全・適切に運行するための整備を行う。 各種講習会を実施し、安全運転、安全作業への意識を高める。 実技研修会に参加し、安全運転技術の向上を図る。	指標説明  成果指標 指標名 (1)  指標説明  指標名 (2)  指標説明	保有清掃車両の合算走行距離数

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 回	16	18	12	15	7	15	46.7	94.1
活動指標 (2)	2 km	603,149	600,000	561,880	570,000	572,978	580,000	100.5	
成果指標 (1)	3								
成果指標 (2)	4								
事業費	5 千円	21,514	22,030	19,903	22,466	21,131	22,581	特記事項	
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	コロナ禍により、交通安全講習会等の開催回数が減少しています。令和3年度から、年間延べ走行距離数の算出方法を、小型プレス車と軽ダンプ車の合算から、保有車両全体の合算に改めています。	
(内) 委託費	7 千円	114	155	112	144	119	119		
職員数	8 人	26.36	22.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
上記以外の職員	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費	10 千円	229,806	187,576	0	0	0	0		
上記以外の職員	11 千円	0	0	0	0	0	0		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	251,320	209,606	19,903	22,466	21,131	22,581		
単位当たりコスト ((12-6)÷1)	13 円	15,707,500	11,644,778	1,658,583	1,497,733	3,018,714	1,505,400		
財源	受益者負担分	14 千円	483	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	483	0	0	0	0		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	250,837	209,606	19,903	22,466	21,131	22,581		
受益者負担比率 (14÷12)	20 %	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

# 令和 4年度杉並区事務事業評価表 ( 2 )

## 令和 3年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 445

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 ( 千円 )
	自動車用燃料		55	台
車両点検整備		55	台	6,784
維持管理経費 ( 車両消耗品、保険料・公課費等 )		55	台	1,108
	その他 ( )			
事業実績	車両点検整備等の実施 3 か月点検 1 9 台    6 か月点検 5 5 台    1 2 か月点検 1 6 台    車検前点検 2 9 台 架装点検 1 8 8 台    修理・調整等 3 1 8 台 各種研修・講習会の実施 交通安全講習会 1 回    運転実技講習 4 回    整備研修 2 回			

## 令和 3年度 評価と課題 ( C h e c k )

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 ( 期待・要望・苦情など )	
事業の今後 ( 3 ~ 5 年 ) の予測と方向性	
計画 ( 目標値 ) に対する実績 ( 指標の分析等 )	
評価と課題	令和 3 年度の事故・車両故障件数は例年並みですが、人身事故 ( 加害 ) が発生していることから、再度、安全確認の徹底を図るとともに、各種研修及び講習を通じて、安全運転・安全作業への意識高揚を推進していきます。 また、計画的な車両整備や故障対応等を行い、安全な車両による無事故作業に努めていきます。 引き続きコスト及び今後の清掃事業の方向性を考慮して、保有車両の台数や管理方法など効率的な運用の検討を行っていきます。

## 令和 5年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 ( 見直しの視点 )	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容		

# 令和 4年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00454 )

事務事業名称	杉並清掃事務所の維持管理			款 06 項 01 目 04 事業 002	整理番号	446	
現担当課名	杉並清掃事務所	係名	管理係	連絡先電話番号	3392-7281	昨年度整理番号	462
上位施策No・施策名	10 ごみの減量と資源化の推進			予算事業区分	既定事業		
事業開始	平成12年度						
令和 3年度担当課名	杉並清掃事務所			事業評価区分	施設維持管理		

## 令和 3年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	5725.03㎡ ( 本所 - 784.70㎡、下井草分室 - 602.96㎡、方南支所1875.64㎡、高円寺車庫2461.73㎡ )	根拠法令等 ( 1 ) ( 2 )	杉並区公有財産管理規則
事業の目的・目標 ( 対象をどのような状態にしたいのか )	建物や設備等を適正に管理保全し、安全で機能的な執務環境を確保する。	活動指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 )	電気使用量 杉並清掃事務所、分室、車庫、方南支所の電気使用量合計 施設等修繕契約件数
活動内容 ( 事務事業の内容、やり方、手段 )	杉並清掃事務所、下井草分室、方南支所、高円寺車庫の庁舎等の維持管理と運営を行う。	指標説明 成果指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 ) 指標説明	杉並清掃事務所、分室、車庫、方南支所に係る施設及び設備機器修繕契約件数

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度		
		実績	計画	実績	計画 ( 目標値 )	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)		
活動指標 ( 1 )	1	kwh	678,272	695,800	653,223	682,000	588,023	577,000	86.2	88.2	
活動指標 ( 2 )	2	件	52	50	51	50	51	50	102.0		
成果指標 ( 1 )	3										
成果指標 ( 2 )	4										
事業費	5	千円	112,975	130,838	121,871	120,374	106,184	112,767	特記事項		
( 内 ) 投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	電気使用量が令和2年度に比し、令和3年度が下がったのは、旧杉並中継所の管理が杉並清掃事務所から、防災課へ移管されたことによる。		
( 内 ) 委託費	7	千円	49,690	54,119	53,560	48,519	46,525	49,733			
職員数	8	人	6.07	5.74	4.13	3.54	4.15	3.59			
上記以外の職員	9	人	0.20	0.50	0.50	1.00	1.00	1.00			
人件費	10	千円	50,386	47,931	33,033	26,506	31,817	28,429			
上記以外の職員	11	千円	616	1,540	1,814	3,628	3,675	3,675			
総事業費 ( 5+10+11 )	12	千円	163,977	180,309	156,718	150,508	141,676	144,871			
単位当たりコスト ( ( 12-6 ) ÷ 1 )	13	円	242	259	240	221	241	251			
財源	受益者負担分	14	千円	9,019	9,983	8,236	0	0			0
	国からの補助金等	15	千円	0	0	0	0	0			0
	都からの補助金等	16	千円	0	0	0	0	0			0
	その他の補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 ( 14+15+16+17 )	18	千円	9,019	9,983	8,236	0	0	0		
差引：一般財源 ( 12-18 )	19	千円	154,958	170,326	148,482	150,508	141,676	144,871			
受益者負担比率 ( 14 ÷ 12 )	20	%	5.5	5.5	5.3	0.0	0.0	0.0			

# 令和 4年度杉並区事務事業評価表（2）

## 令和 3年度 事業実施状況（D o）

整理番号 446

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	保守管理委託			
	光熱水費の支出			42,347
	維持管理経費の支出			7,418
	施設等整備			9,877
	その他（高円寺車庫除湿器の購入等）			1,986
事業実績	<p>杉並清掃事務所、下井草分室、方南支所については老朽化が進んでおり、各種保守点検に加え、計画的な整備・修繕が必要であり、限られたコストの中で適切な施設管理を行いました。加えて、高円寺車庫においては各種機器等を安全かつ適切に管理するため、計画的な点検・整備を行いました。</p>			

## 令和 3年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	
評価と課題	<p>老朽化が進んでいる杉並清掃事務所、下井草分室、方南支所の各施設において、優先度の高い項目から必要な修繕を行い、適切な維持管理を行いました。</p> <p>高円寺車庫を除く清掃事務所の各施設は、老朽化に伴う適切な維持管理が引き続き求められることから、定期的な点検と計画的な修繕を行っていきます。</p>

## 令和 5年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容		